

1. 日時：令和8年2月3日（火）15時15分～16時40分

2. 会場：三国丘高等学校 校長室

3. 出席者：

〔委員〕田中満公子会長、仲林信至副会長、井上博史委員、河野泰之委員、吉岡哲郎委員、  
長瀬陽子委員

〔学校側〕藤井光正校長、田中和代教頭、中島泰志事務部長、大塚雅之首席、  
渡部英輝首席、北川晃士教諭、辻本幸美教諭、中村駿太教諭、平木悠一教諭、  
神宅浩司教諭、中屋江里子教諭

4. 次第

①校長挨拶

本日は生徒の課題研究発表会があり他校の先生もたくさんお越しくださいました。本校の課題研究が根づいている証拠かと思います。今回は今年度最終回となります。よろしくお願いいたします。

5. 議事

（1）令和7年度学校評価（学校教育自己診断の報告）および令和8年度学校経営計画について

【学校】当初の目標通り順調に進んでいる。進路指導関係や授業関係では肯定的回答が過去最大となっている。

【委員】このアンケートは男女比も含めてとっているのか。女子が理系に行けるようにエンカレッジできたらいいなと考える。女子の理系学生数が増えることで、女性の教員数も増えていくと考える。

【学校】男女別のアンケートはとっていない。

【委員】大学見学など様々な経験をすることで、理系の女子が増えたらいいなと考える。生活指導関係の肯定的評価が増えた理由はあるのか。

【学校】学年主任や担任など関係の先生がより丁寧な指導を心掛けた結果と考える。

【委員】転勤などもあるので、学校として継続的に行えるようにしていくといいと思う。最後に読書習慣について何か工夫があればやってもらいたい。

【委員】理系女子を増やすには親の影響もあると思うので、保護者の認識も変わるように工夫した方が良くと思う。図書館についてもよりキレイなものにしていてもらいたい。

【学校】図書館については、より良いものとするように方策を検討していきたい。

【委員】授業満足度が上がっているのはどういう要因か。

【学校】教材として使うプリントの共有や教員が相互に授業を見学する取組の充実が授業改善に繋がったと実感している。

【学校】次に令和8年度の計画について、次年度はSSHの審査に向けてしっかりと取り組みたい。また、土曜日をうまく活用をすることによって、生徒が自分で学習をマネジメントし、自学自習にむかえるようにしていく方法を探っていきたいと考えている。最後に、教員の働き方改革も進めていきたいと考えている。

【委員】SSHの審査は厳しいのか？

【学校】ステージが上がるにつれ審査のハードルも上がるので、先を見通した準備をしっかりとしていきたい。

【委員】働き方改革と部活動はどのようなバランスでやっていくのか？

【学校】部活動は地域移行に向かう状況になると考える。本校なりの方向性も考えていきたい。

【委員】土曜活用は具体的に決まっているのか？

【委員】首席を中心に検討を進めている。

## (2) 各学年の状況について

【学校】3年については、欠席や遅刻も少なく、学年としての目標は達成できたと考えている。土曜日の教室開放の時には、毎回100人以上が参加している。これは近年にない人数である。

【学校】2年については、台湾修学旅行が成功裏に終わった。帰国してからも、生徒たちは自主的に行動している。学習習慣も確立してきた。

【学校】1年については、ミニ探究の発表が先日行われ、例年に比べてレベルが高いという評価を受けた。学習習慣を確立できよう引き続き取り組んでいきたい。

## (3) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に関する今年度の取組みについて

【学校】学校内外の研究発表は、どれもうまくいっている。NASA研修終了後は、参加した生徒に、本を読むことの重要性を指導している。来年度の申請に向けての準備は、順調に進んでいる。承認に向けて頑張りたいと思う。

【委員】次期の申請に向けて何か組織として取り組んでいるのか。

【学校】プロジェクトチームを作って申請に向けた動きをスタートさせた。来年度から組織を再編し、学校が一体となって将来構想を実現させたい。

## (4) スーパーグローバルハイスクールに関する今年度の取組みについて

【学校】フィリピン研修に関連して、今年度初めてフィリピンの生徒が本校に滞在し授業などを受ける取組みが行われた。探究活動（CSⅡ）については、生徒たちが個人研究もしていくべきかどうか、今後も検討していきたい。

【委員】SSH、SGHに関連して、探究学習に熱心に取り組む生徒の方が学力は高いのか。

【学校】明確なデータがある訳ではないが、学力の最上位層は探究に粘り強く取り組む傾向がある。

#### (5) 進路指導関係の状況について

【学校】例年と比べて東大3人、北海道大学8人など、関西以外の大学への出願が増加している。例年に比べ、また、他の文理学科と比較しても、共通テストの上位層は多い。安全だと思っていたところに受験生が集まっているというのが、今年の全国的な出願の傾向なので、希望進路実現に向けた進路指導を進めていきたい。

#### (6) その他

【委員】主権者教育はどのように取り組んでいるか。

【学校】社会科の授業を中心に意識を高められるように取り組んでいる。

【委員】学校の教育活動全般について、同窓会としても援助したいので、教員側で何か考えているものがあるか意見を言ってもらえればありがたい。

【学校】検討したい。文武両道の伝統を守りながら今後もしっかりと取り組んでいきたい。